



第2次南あわじ市総合計画を策定



南あわじ市は、平成17年1月11日に4つの町が対等合併して誕生しました。平成19年3月には第1次南あわじ市総合計画を策定し、「食」がはぐくむふれあい共生の都市「夢・知恵・元氣あふれる 豊穣の郷づくり」を将来像に掲げ、まちづくりを進めてきました。南あわじ市では、時代の流れとともに今後の課題を的確に捉え、市民や関係機関と連携しながらまちづくりを進めていきます。そのため、10年後の南あわじ市のめざす姿を明らかにし、南あわじ市で生まれ育つたことを誇りに思い、これからのこのまちに住み続けたいと感じられるまちづくりに取り組んでいくため、「第2次南あわじ市総合計画」を策定しました。また、平成28年3月には人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため「南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しており、この戦略と連携を図りながら、まちづくりを進めていきます。

総合計画とは

総合計画とは、南あわじ市の最上位計画でまちづくりの基本方針を示すものです。

▼計画の構成と期間
総合計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成します。

基本構想の計画期間は、平成29年度から平成38年度までの10年間とします。

平成29年度から平成33年度までの5年間で前期基本計画、平成34年度から平成38年度までの5年間で後期基本計画とします。

計画の構成

10年後の将来像とめざすべきまちの姿を示します。

基本構想を実現するための具体的な取り組み（施策）やその達成度を測るための指標（成果指標）を定めます。



このように人と人とのつながりを大事にしながら、市民一人ひとりがひかり輝く「人」づくりを行います。

③魅力あふれるまちづくり

安全に安心して暮らせることは、南あわじ市への定住を進めるうえで、重要な要因です。

南あわじの豊かな自然環境を守り続けるとともに、快適な生活環境づくりを行い、自然災害や老後の不安を解消し、市民誰もが生涯現役で活躍できるまちを形成することにより、いつまでも南あわじで暮らし続けたいと思う魅力あふれるまちづくりを行います。

まちづくりの進め方

総合計画に基づくまちづくりを効率的で効果的に進めるにあたり、3項目を掲げ取り組みます。

▼市民の参画と協働によるまちづくり

▼自立・持続可能な行財政運営によるまちづくり

▼広域連携によるまちづくり

南あわじ市総合計画の詳細については、市ホームページをご覧ください。

図ふるさと創生課

☎ 43・5205

南あわじ市の将来像

だから住みたい 南あわじ
～人がつながる 笑顔あふれる ふるさとづくり～

先人たちのたゆまぬ努力によって受け継がれたこの地に、これからも市民が「住み続けたい」と思い、市外の方に「これから南あわじ市に行きたい、住んでみたい」と思ってもらい、すべての人が生きいきと社会貢献を通じた生きがいを持ち続け、健康で周囲から認められる魅力あふれるまちづくりを進めていきます。そのために市民の積極的な参画を得ながら、南あわじ市の現状と課題を認識し、協働により市民一人ひとりの幸福と地域の幸福を実現していきます。

将来像の実現に向けては、次の3つのまちづくりの柱を掲げ、南あわじ市を支えている産業を維持・展開していく仕事の確保や、その仕事

に就き今後このまちを担っていく人づくりを行いながら、市民が安全に安心して暮らすことができる環境整備を進めていきます。

3つのまちづくりの柱

①活気ある仕事づくり

②ひかり輝く人づくり

③魅力あふれるまちづくり

将来像の実現に向けて

将来像の実現に向けて、3つのまちづくりの柱を掲げ、各分野の施策を推進していきます。

①活気ある仕事づくり

若者世代の人口流出に歯止めをかけるためには、市内において魅力ある働く場を創出することが重要です。

このためには、地域のふるさと資源を活かした農畜水産業・地場産業・観光業の振興をはじめとして、優良企業の誘致や異業種・各分野との連携による新たな産業づくりを推進することにより、交流促進、新たな雇用の創出につながる活気ある仕事づくりを行います。

②ひかり輝く人づくり

まちづくりにおいては「人」がすべての中心であり、次世代を担う人材を育成することが重要です。

子どもを安心して産み育てられる環境の充実をはじめ、地域への郷土愛の醸成や生涯にわたってスポーツや文化芸術活動にふれあう環境を整備し、市民一人ひとりが、南あわじ市の一員、地域の一員として自立し、共生の心をもって生活していくことが重要です。